

2013 年度点検・評価シート

I 評価項目・担当部局

| | |
|------------|---------------------------------|
| 対象部局 | 経済学研究科 |
| 評価基準 4 | 教育内容・方法・成果 |
| 中項目 4-4 | 成果 |
| 点検・評価項目(1) | 4-4-1 教育目標に沿った成果が上がっているか。 |
| 評価の視点 | 学生の学習成果を測定するための評価指標の開発とその適用 |
| 点検・評価項目(2) | 4-4-2 学位授与（卒業・修了認定）は適切に行われているか。 |
| 評価の視点 | 学位授与基準、学位授与手続きの適切性 |
| | 学位審査および修了認定の客観性・厳格性を確保する方策 |

II 【点検・評価項目ごとの現状説明】

| | |
|-------|---|
| 4-4-1 | ・学生の教育研究成果を測定するための評価指標とそれに基づいた適切な評価制度が確実に整備されているとはいえない。現状では、大学院経済学研究科に入学した学生が、大学院学則で定められた修学年限内に修士論文または博士論文を作成し、修了単位数を取得して、最終試験に合格したうえで、修士または博士の学位を取得し、修了した事実をもって測定するしかない。 |
| 4-4-2 | 経済学研究科経済学専攻博士課程前期課程および博士課程後期課程の修了に必要な単位数その他の要件は、大学院学則および学位規則並びに大東文化大学大学院経済学研究科学位論文審査基準に定められている。学位の授与は、学位規則および学位論文審査基準に基づき、経済学研究科委員会において適切に行われている。 |

【効果が上がっている事項】

| | |
|-------|--|
| 4-4-1 | |
| 4-4-2 | |

【改善すべき事項】

| | |
|-------|--------------------------------------|
| 4-4-1 | ・学生の教育研究成果を適確に測定するための評価指標を作成する必要がある。 |
| 4-4-2 | ・学位論文審査基準を学生に周知する。 |

III 本項目の根拠資料（データ類、裏付けとなる資料）

| |
|--|
| 大東文化大学大学院学則 大東文化大学学位規則 『大東文化大学大学院経済学研究科教育研究上の目的及び学位論文審査基準』 『大東文化大学大学院大学院の手引き 2013 年度』 |
|--|

【2014 年度からの達成目標】

【達成目標】 目標の進捗状況は、「S：完全に達成」「A：概ね達成」「B：やや不十分」「C：不十分」で、評価する。

| 達成目標 | 目標達成の指標となるもの | 評価 | | | | |
|---------------------|--|------|------|------|------|------|
| | | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 |
| 中期目標 (2014～2018) | ・学生の教育研究成果を適確に測定する評価指標を作成し、測定システムを構築する。 評価指標が作成され、測定システムが稼働している。 | → | | | | |
| 14 年度 目標 | ・学生の教育研究成果を測る評価批評の作成に着手する。 経済学研究科委員会に諮り、評価指標作成WGが立ち上がり、検討が進められている。 | → | | | | |
| | ・学位論文審査基準を学生に周知する。 『大東文化大学大学院経済学研究科教育研究上の目的及び学位論文審査基準』を冊子体にして、全学生に配布する。 | → | | | | |